

次世代技術と製品への巨大資本における投資と市場

黒田インターナショナル コンサルティング

黒田 毅

次世代技術という新しい潮流は、企業における新しい現実である。巨大資本は、新しい技術への投資と、これら次世代技術における開発を行うものである。これらは失われた 20 年における企業の帰結がこれら勝ち組における新しい可能性への投資と開発へ転換しているのである。これらグローバル市場における開発は、その投資とともに、企業の大きなプレゼンスを未来へ与えるものである。

これらは完全な 2 分化であり、生き残り競争というビジネスのルールは、これら資本力が新しい開発へと向かい、新しい現実を既に有するのである。これらは、自由経済システムにおける新しい現実であり、これらが未来を有することは明白なのである。

これは資本主義における帰結が、巨大な資本における市場の占有という末期を与えたのである。

これにおいて思い出されるのが、共産主義思想である。競争における勝者が占有する世界において、これらエリートたちは、敗者の論理としてこれらを切り捨てるかもしれないが、格差社会において、これらの正当性は存在するのかもしれない。

これら資本力と技術力は、零細企業においては及ぶことはできないものである。しかしこれら技術開発基準の受け入れと企業環境の整備において、新たなチャンスがあることも真実である。

これらの現実において留意されることは、新しいエリートたちの存在である。これら絶対的な社会の 2 分化が存在するのである。

これらは明らかに技術基準の転換が存在するのである。これらは経済における製品技術が新しい段階へ飛躍したことであり、さらなる未来は必ず存在するのである。

等しく考慮されるべきは、自由経済システムが、これら新しい技術を有することにおいて、自由貿易システムとともに、全く異なる現実を今日有することである。

これらは政治における経済施策が新しい判断を要求されることであり、これらが現実として存在することは、自国経済の育成と決定への、新たな経済施策を要求するものである。

これらはアメリカ合衆国におけるこれら挑戦は、既に現実を与えるものであり、自由主義と自由経済システムにおけるこれら新しい未来という現実は、全ての国家において明確な自国経済における判断を要求するものである。